

福井県労働状況調査

(平成21年10月～12月の平均結果)

平成22年 2月16日
福井県 政策統計課

結果の概要

1. 就業者

- 福井県の労働力人口は447.8千人で、労働力人口比率は64.7%である。
- 福井県の就業者数は432.9千人で、就業率は62.6%である。
- 福井県の15～64歳の就業率は77.7%である。
- 就業者を産業別にみると21.1%が製造業、13.8%が「卸売業、小売業」である。
- 福井県の雇用者数は350.0千人である。

2. 完全失業者

- 福井県の完全失業者は14.9千人である。
- 完全失業者のうち10.5千人（70.5%）が男性で、4.4千人（29.5%）が女性である。
- 求職理由別にみると、勤め先都合による失業者が4.9千人で32.9%、次いで自己都合が3.3千人で22.1%を占める。

3. 完全失業率

- 福井県の完全失業率は、3.3%である。
- 男性の完全失業率は4.3%、女性の失業率は2.2%と女性の完全失業率の割合が2.1ポイント低い。

概要表

原数値	当期 (千人)	構成比 (%)
15歳以上人口	691.7	100.0
労働力人口	447.8	64.7
非労働力人口	242.4	35.0
就業者	432.9	100.0
雇用者	350.0	80.9
自営業主・家族従業者	73.0	16.9
農林漁業	21.2	4.9
建設業	41.8	9.7
製造業	91.3	21.1
情報通信業	8.3	1.9
運輸業、郵便業	17.9	4.1
卸売業、小売業	59.6	13.8
学術研究、専門・技術サービス業	9.3	2.1
宿泊業、飲食サービス業	23.8	5.5
生活関連サービス業、娯楽業	17.2	4.0
教育、学習支援業	20.7	4.8
医療、福祉	44.9	10.4
サービス業（他に分類されないもの）	23.3	5.4
就業率 (%)	62.6	
うち15～64歳	77.7	
完全失業者	14.9	100.0
男	10.5	70.5
女	4.4	29.5
定年等	2.4	16.1
勤め先都合	4.9	32.9
自己都合	3.3	22.1
学卒未就職	0.7	4.7
新たに収入が必要	1.3	8.7
その他	1.9	12.8
完全失業率 (%)	3.3	
男	4.3	
女	2.2	

※「農林漁業」とは、日本標準産業分類における「農業、林業」と「漁業」を合せたもの。

【利用上の注意】

- ※ 四半期平均公表の県内値は、対象四半期の各月に公表された「福井県労働状況調査」の結果の平均（原数値）
- ※ 本調査は標本数の制約上、数値の変動が実際の数字以上に大きくなる場合があることから、結果の利用に当たっては注意を要する。
- ※ 「労働力人口」は、15歳以上人口のうち就業者数と完全失業者とを合わせたものである。
- ※ 「労働力人口比率」は、15歳以上人口に占める労働力人口の割合である。
- ※ 「就業率」は、15歳以上人口に占める就業者の割合である。
- ※ 「完全失業率」は、労働力人口に占める完全失業者の割合である。
- ※ 「週間就業時間」は、調査期間（各月月末1週間、ただし、12月は20～26日）における就業時間である。
- ※ 四半期平均結果の初回公表のため、増減比較なし。
- ※ 全国および地域（北陸）の値は、総務省統計局「労働力調査(基本集計)平成21年10～12月期平均」による原数値。
- ※ 総数には分類不能または不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。
- ※ 表示桁未満の位での四捨五入であるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- ※ 統計表中の「0」は、数値が表章単位に満たないもの、「-」は当該数値のないことを示す。

【就業者の動向】

1. 就業状態別人口

- 県内の労働力人口は447.8千人、就業者は432.9千人で、労働力人口比率は64.7%（全国59.5%）である。
- 男女別の就業者は、男性234.2千人（就業者全体の54.1%：全国57.9%）、女性198.7千人（同45.9%：全国42.1%）女性の構成比が全国値より3.8ポイント高い。
- 年齢階級別の労働力人口をみると、県内では35歳から44歳の層が96.3千人（労働力人口全体の21.5%）で最も多く、また、25歳から34歳の年齢層の構成比が18.0%と全国と比べて2.3ポイント低い。

表1 就業状態別人口

平成21年		福井県（実数（千人））			参考：全国（第4四半期）（実数（万人））		
10～12月		男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口		691.7	330.7	360.9	11,053	5,342	5,712
	労働力人口	447.8	244.6	203.2	6,582	3,824	2,758
	構成比（%）	100.0	54.6	45.4	100.0	58.1	41.9
	就業者	432.9	234.2	198.7	6,251	3,622	2,629
	構成比（%）	100.0	54.1	45.9	100.0	57.9	42.1
	完全失業者	14.9	10.5	4.4	331	202	129
	構成比（%）	100.0	70.5	29.5	100.0	61.0	39.0
	非労働力人口	242.4	85.2	157.3	4,469	1,516	2,952
	構成比（%）	100.0	35.1	64.9	100.0	33.9	66.1
労働力人口（再掲）		実数（千人）		構成比（%）	実数（万人）		構成比（%）
		447.8			6,582		
年齢階級別	15歳～24歳			7.7	556		8.4
	25歳～34歳			18.0	1,335		20.3
	35歳～44歳			21.5	1,519		23.1
	45歳～54歳			20.9	1,337		20.3
	55歳～64歳			20.2	1,270		19.3
	65歳以上			11.7	564		8.6

2. 従業上の地位・産業別就業状況

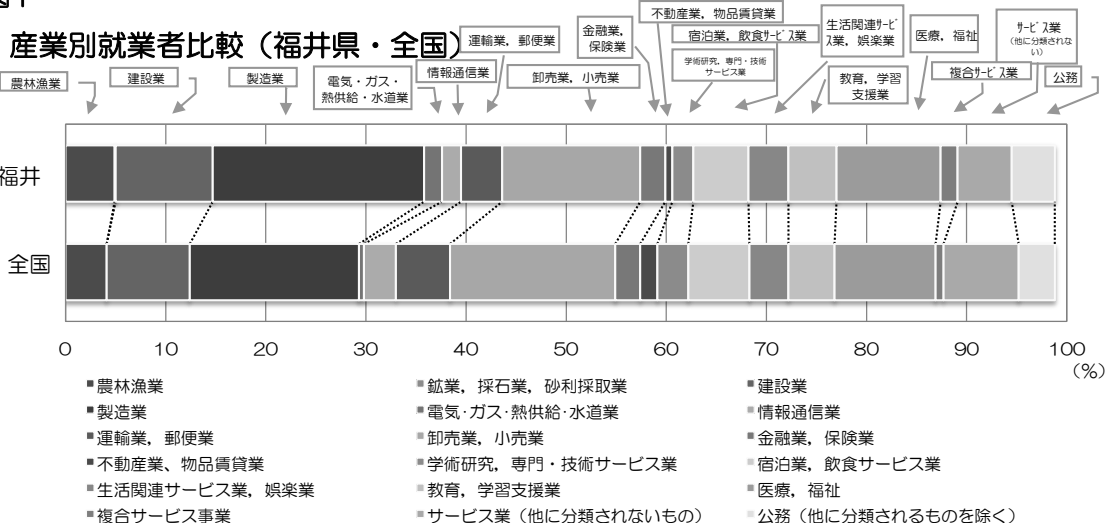
- 県内の就業者のうち雇用者は350.0千人、就業者に対する割合は80.9%で全国より6.5ポイント低い。
- 県内の就業者のうち自営業主および家族従業者の割合は16.9%で、全国より4.6ポイント高い。
- 産業別に就業者をみると、「製造業」の割合が21.1%で、全国より4.2ポイント高い。
- 「卸売業、小売業」の就業者の割合は13.8%で、全国より2.7ポイント低い。

表2 従業上の地位・産業別就業者数

平成21年		福井県		参考：全国（第4四半期）	
10～12月		実数（千人）	構成比（%）	実数（万人）	構成比（%）
就業者		432.9	100.0	6,251	100.0
従の業地上位	（男）	234.2	54.1	3,622	57.9
	（女）	198.7	45.9	2,629	42.1
	自営業主、家族従業者	73.0	16.9	766	12.3
	雇用者	350.0	80.9	5,462	87.4
産業別就業者	（うち常雇）	302.3	69.8	4,691	75.0
	農林漁業	21.2	4.9	255	4.1
	鉱業、採石業、砂利採取業	0.6	0.1	3	0.0
	建設業	41.8	9.7	521	8.3
	製造業	91.3	21.1	1,059	16.9
	電気・ガス・熱供給・水道業	7.9	1.8	31	0.5
	情報通信業	8.3	1.9	199	3.2
	運輸業、郵便業	17.9	4.1	339	5.4
	卸売業、小売業	59.6	13.8	1,034	16.5
	金融業、保険業	10.9	2.5	159	2.5
	不動産業、物品賃貸業	3.2	0.7	106	1.7
	学術研究、専門・技術サービス業	9.3	2.1	194	3.1
	宿泊業、飲食サービス業	23.8	5.5	380	6.1
	生活関連サービス業、娯楽業	17.2	4.0	246	3.9
	教育、学習支援業	20.7	4.8	286	4.6
	医療、福祉	44.9	10.4	629	10.1
	複合サービス事業	7.4	1.7	52	0.8
	サービス業（他に分類されないもの）	23.3	5.4	471	7.5
	公務（他に分類されるものを除く）	18.6	4.3	228	3.6

※「農林漁業」とは、日本標準産業分類における「農業、林業」と「漁業」を合わせたもの。

図1



3. 週間就業時間

- 週間就業時間が49時間以上の従業者の割合をみると、全国23.0%に比べて0.6ポイント低い。
- 週間就業時間が1～35時間未満の従業者の割合をみると、全国30.0%に比べて4.6ポイント低い。

表3 男女別週間就業時間

平成21年 10～12月	福井県（千人）			参考：全国（第4四半期）（万人）		
	1～35時間未満	35時間以上	うち49時間以上	1～35時間未満	35時間以上	うち49時間以上
男	37.3	191.7	69.9	640	2,904	1,116
女	69.7	122.8	24.4	1,190	1,364	289
計	107.1	314.5	94.4	1,832	4,269	1,406
構成比	25.4	74.6	22.4	30.0	70.0	23.0

※構成比は、週間就業時間が「1～35時間未満」「35時間以上」の従業者の合計に占める割合を示す。

【完全失業者の動向】

完全失業者数・完全失業率

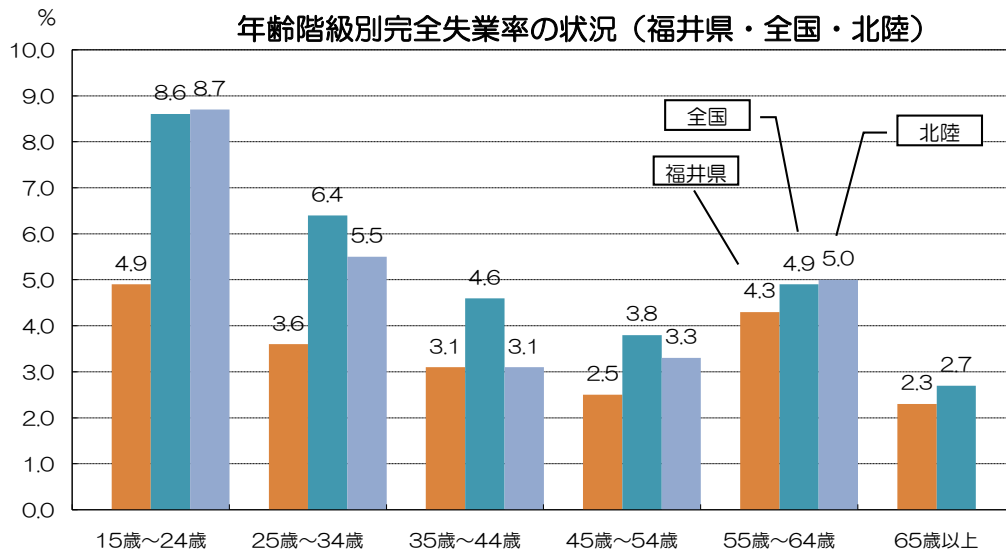
- 完全失業者数は、14.9千人、完全失業率は3.3%で、全国5.0%と比べると1.7ポイント低い。
- 男性の完全失業者数は10.5千人、完全失業率は4.3%、女性の完全失業者数は4.4千人、完全失業率は2.2%で、いずれも全国と比べると低い。
- 完全失業率を年齢階級別でみると、いずれの階級でも全国より低い。特に、15歳～24歳、25歳～34歳の年齢層での完全失業率が全国より、それぞれ3.7ポイント、2.8ポイント低い。
- 求職理由別の構成比でみると、自分や家族の都合に伴うものが22.1%と全国より8.1ポイント低い。

表4 完全失業者、完全失業率の状況

完全失業率：完全失業者／労働力人口

平成21年 10～12月		福井県			参考：全国（第4四半期）		
		実数(千人)	失業率(%)	構成比(%)	実数(万人)	失業率(%)	構成比(%)
完全失業者		14.9	3.3	100.0	331	5.0	100.0
（男）		10.5	4.3	70.5	202	5.3	61.0
（女）		4.4	2.2	29.5	129	4.7	39.0
年齢階級別	15歳～24歳	1.7	4.9	11.4	48	8.6	14.5
	25歳～34歳	2.9	3.6	19.5	85	6.4	25.7
	35歳～44歳	3.0	3.1	20.1	70	4.6	21.1
	45歳～54歳	2.3	2.5	15.4	51	3.8	15.4
	55歳～64歳	3.9	4.3	26.2	62	4.9	18.7
	65歳以上	1.2	2.3	8.1	15	2.7	4.5
求職理由別	定年または雇用契約の満了	2.4		16.1	34		10.3
	勤め先や事業の都合	4.9		32.9	111		33.5
	自分や家族の都合	3.3		22.1	100		30.2
	学校を卒業したから	0.7		4.7	12		3.6
	収入を得る必要が生じたから	1.3		8.7	43		13.0
	その他	1.9		12.8	25		7.6

図2



※北陸の65歳以上は、完全失業者数が表章単位（1万人）未満のため、算出していない。

注）総務省統計局労働力調査（平成21年第4四半期）

福井県労働状況調査の概要

（調査の目的）

この調査は、福井県における15歳以上の者の就業および不就業の状態を明らかにし、県の雇用施策などのための基礎資料を得ることを目的とした調査です。

（調査の方法）

- 対象：県内の全世帯の中から層化二段抽出法により選定した55調査区、約825世帯に居住する15歳以上の者
- 時期：毎月月末1週間の就業状態
- 方法：調査区に調査員が調査票を配布し、翌月上旬に収集
- 内容：就業、不就業の状態・従業上の地位・求職理由など
- 集計：県調査分に総務省統計局調査分（25調査地区・約375世帯）を合わせ、3か月後方移動平均により作成

就業状態の区分

